

ごあいさつ



2020年6月25日に開催されました第17回通常総会において、影山前理事長の任を引継ぎ理事長に就任いたしました。さらなる「ろうきん運動の推進」「労金事業基盤の強化」を通じて、勤労者の皆様に寄り添った金融サービスの提供に努めてまいります。皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

当金庫第6期中期経営計画は「深める・広める・高める」の3つのテーマに基づく取組みを進めるとともに「量から質への転換」による財務基盤の強化等を図ることで、「お客さま本位の業務運営」と「持続可能なビジネスモデル」の構築をめざしています。中間年度にあたる2019年度は、生協組合員の皆様を対象とした「東北ろうきんコープローン」の発売、「Web完結型カードローン利用範囲の拡大」、「ろうきんアプリ」や「キャッシュレス決済」の導入等、利用者の皆様の利便性向上を図りました。店舗政策では、11店舗で「窓口一時休業」を導入、経営改善策に係り、「震災からの復興の象徴」である大船渡支店新店舗建設に着手、2020年6月にオープンしました。さらに、財務基盤強化の取組みとして、会員の皆様のご協力のもと10億円の出資金増資を実施いたしました。

結果、厳しい環境下にあつて、預金626億円、融資471億円の増加とそれぞれ計画を上回るとともに、決算も増収・増益を確保いたしました。これもひとえに、会員・組合員の方をはじめ、利用者の皆様からの多大なるご支援の賜物と感謝申し上げます。

一方、2019年度は自然災害が相次いだ1年となりました。特に、東北地方は「東日本大震災」復興途上にあつて、令和元年台風第19号によりさらなる被害を受けることとなりました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く平穏な日々が戻りますことをお祈り申し上げます。

そして、現在「新型コロナウイルス感染症」の世界的な感染拡大が、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。社会・経済活動に対する制約が企業業績や雇用情勢を不透明なものとし、なにより、私たちの健康・生命そのものが脅かされている状況です。

当金庫では、「新型コロナウイルス感染症」への対応を最優先課題とし、「ろうきん生活支援特別融資」や各自治体と提携した低利な融資制度を開始するとともに、社会福祉協議会の「緊急小口資金（特例貸付）」の取次ぎ等により、勤労者の皆様の生活・家計の支援に全力で取り組んでまいります。さらにSDGs目標達成に向けた事業、持続可能なビジネスモデルの構築を通じて、協同組織の福祉金融機関としての役割を発揮しながら経営基盤の強化をめざしてまいります。

ここに2020年3月期ディスクロージャー誌を作成いたしました。皆様方に当金庫をご理解いただけるよう、事業内容・業績・今後の取組みなどを紹介しておりますので、ご一読いただければ幸甚に尽きます。

2020年7月

理事長 砂金 良昭